

西工新聞 Break Through

2020. 5. 15(金)
R2-002号
兵庫県立西脇工業高等学校

離任された先生方からのメッセージ

中村 智行先生より

30冊のアルバム

本校で勤務した30年で、アルバム30冊に関わる思い出が残りました。1枚の写真に多くの出来事が思い起こされるものがたくさんあります。

皆さんも、どこを切り取っても思い出が詰まった日々になるよう1日1日を充実したものにしてください。苦労した分だけ充実感があります。成果が残ります。より良い1日にするために「感謝」の気持ち、「素直」な心でいい学校生活を送ってください。素晴らしい環境・先生・仲間たちとともに。

細川 敦志先生より

西脇工業では5年間お世話になりました。当時は知らない土地に初めての工業高校ということもあり、公私ともに戸惑いだらけのスタートだったことを思い出します。しかし、学年・科・分掌とたくさんの先生方のお支えのお陰のうちに、機械科担任3年間と教務部2年間の充実した日々はあっという間に過ぎていきました。

最後の勤務日には、野球部の皆さんがグラウンドに整列し、挨拶をしてくださいました。最後に素敵な思い出をありがとう。現在の勤務校は甲子園に距離的に最も近い学校です。皆さんをスタンドから応援する日を心待ちにしています。

西脇工業高校のさらなるご発展とご多幸をお祈りいたします。本当にありがとうございました。

竹中 修先生より

昭和・平成・令和と三世代にわたって、母校でお世話になりました。ありがとうございます。今は、新型コロナウイルスで大変な時期を迎えていますが、一人一人がルールを守り、自分の行動に責任を持ち、一日も早く通常の学校生活が送れることを心から願っています。

ところで、私からあなたたちに一つ伝えたいことがあります。自分自身が他の人より少しだけ優れているものがあるのなら、また、興味・関心がありやってみたいと思うことがあるのなら、必ず挑戦してみてください。やらないで後悔するよりも、結果がどうであれ、やってみた方が良いと私の経験から言えます。皆さんのますますの活躍を応援しています。

中川 優先生より

離任式で皆さんの顔を見てお別れ出来ないのは残念ですが、伝えたい事が2つあります。

1つ目は、皆さんの挨拶です。皆さんの挨拶で私は元気を頂きました。「挨拶はあたりまえの事だ」と言う人もいますが、あたり前の事をあたり前に出来る人がどれだけいるでしょうか？これからも大切にしてください。

2つ目は、モノの捉え方です。同じ事が起こっていても、その事が後ろ向き（ネガティブ）に考える人と、前向き（ポジティブ）に考えられる人がいます。目標にしていたオリンピックが1年延期になり、多くのトップアスリートが後者の考え方をしています。人生は一度きりで起こることもさまざまですが、前向きに考えていきましょう。

最後になりましたが、西脇工業生をこれからも応援しています。頑張れ西脇工業生！そして4年間ありがとうございました。

正井 信一先生より

定年退職まであと三年となった時、西脇工業高校に着任させて頂きました。最後まで頑張れるかな？と不安でしたが、なんとか勤めることができました。これも生徒の皆さんから元気と勇気もらったおかげだと感謝しています。勉強や部活動に一生懸命に取り組み、しっかりと挨拶ができる西脇工業生が大好きでした。君達の可能性は無限大です。これからも自分の限界を自分で決めてしまわないで何事にも前向きにチャレンジしてください。それから、21と水泳部の生徒の皆さん、サプライズの離任式をしてくれてありがとう。心のこもった書き置きときれいな花をプレゼントしてくれて涙が出そうなくらい嬉しかったです。31の生徒の皆さん、一杯話しかけてくれてありがとう。明日また頑張れる力になったのを覚えています。君達の活躍がどこかで聞こえてくることを楽しみにしています。それでは……。

武友 千草先生より

こんにちは。休校が長引く中、皆さんはどのように過ごしていますか。今回のコロナウイルスの問題を通して、平凡な毎日がどれだけ幸せであったかを実感した人は多いと思います。これからの社会の大きな変化に私たちが対応するには、「物事を様々な角度から捉え考える力」を養うことが大切だと思います。なぜならそれが、「問題を解決する力」や「新しいものを生み出す力」につながるからです。西脇工業高校には、このような力を高められる環境があります。実習や課題研究などの学習や部活動を通して、自身の可能性を広げていってください。皆さんの活躍を願っています。

私にとって工業高校での勤務は、ものづくりの魅力に触れることができ、とても良い経験となりました。ありがとうございました。

川上裕一郎先生より

皆さん、お元気ですか。私は、4月から篠山産業高校に異動になりました。休校で、皆さんに直接お別れの挨拶ができず残念です。昨年一年間お世話になりましたが、C科の皆さんと関わることが多く、皆さんに助けてもらった一年でした。C科が後二年でなくなるのは、寂しい気持ちもありますが、残り二年、いい形で締めくくりができるように、日々の生活を送ってください。また、硬式野球部の皆さん、一年間ありがとうございました。今年は、本当に楽しみなチームで、皆さんには大きなチャンスがあると思います。応援しています。夏、良い報告を待っています。また、いつか西脇工業に帰ってきたいと思います。本当にありがとうございました。

先生方、本当にお世話になり、ありがとうございました。今後、ますますのご活躍をお祈りしています。
その他の離任された先生方からは、メッセージが届き次第掲載させていただきます。